

○ 令和元年度の経営目標達成状況及び令和2年度目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R1)	H30実績	R1目標	R2目標	ウエイト (R2)	中期経営計画 (R1～R3)		R2目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載	
						実績[見込]			R2目標	最終年度 目標		
⑤ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		百万円	40	11,677	12,211 〔12,343〕 ※12,359	12,703 ※13,088	40	13,055	13,815	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR2年度の料金収入、維持管理費等の費用見通しに基づき算定 (R1実績見込値、R2目標値の下段(※)の数値は、新型コロナウイルスの影響がないとした推計値)	
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										具体的活動事項		
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路公社は、道路管理者に代って、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で建設費を償還し、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引継ぐことになる。 ○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹になる。 H31年度当初に、路線移管による移管額の受入れにより、公社の借入金は実質ゼロとなることから、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重点の経営目標とする。 										中期計画(2019～2021)に基づき、以下の取組みを進めることにより、建設費の着実な償還を推進する。	
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理路線を適正な状態に保ち、安心・安全で利便性の高い道路サービスを提供するためには、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)が必要となるが、無計画で場当たりの維持管理では、多大な費用と時間が必要となる。 ○ 国の予測によると、自動車交通量(走行台・キロ)が減少傾向にある中で、管理路線を利用する交通量を確保し、安定的な収入の確保が必要となる。 										①コスト削減の具体的な取組み ○これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し ○電力調達方式の見直し ②利用促進の具体的な取組み ○ホームページやTwitterによる情報発信 ○周辺の観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施 ○近隣の集客施設やイベント等でのリーフレットの配布等のPR活動 ③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み ○日常的な維持管理業務の着実な実施(消防設備点検等) ○計画的な維持管理(鳥飼仁和寺大橋有料道路の防水工事等) ○防災対策の推進(箕面有料道路の法面補修工事等) ○利用者ニーズを反映したサービス向上(箕面有料道路の渋滞状況のリアルタイムな発信等)	
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ H31年3月に策定した「中期経営計画(2019～2021)」に基づき、引き続き以下の取組みを進める。 <ol style="list-style-type: none"> 1 コスト削減の取組み 効率的・効果的な維持管理の実施により、引き続き維持管理費等の縮減に取り組む。 2 利用促進の取組み 観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施やホームページやリーフレットにより路線情報を発信し、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。 3 安心・安全で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 「大阪府道路公社維持管理方針」に基づき、ライフサイクルコストを考慮した予防保全の考え方に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するとともに、事故・渋滞対策の推進や利用者ニーズを反映したサービス向上に努める。 											

法人名	大阪府道路公社
-----	---------

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R1)	H30実績	R1目標	R2目標	ウエイト (R2)	中期経営計画 (R1~R3)		R2目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績[見込]			R2目標	最終年度 目標		
① 安全で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数		件	10	0	0	0	10	—	—	穴ぼこ、路上障害物、雪氷、安全施設不備等の管理瑕疵に起因する事故発生防止のため、365日24時間の交通管理パトロールに加え、公社職員による施設・設備の点検の実施により、事故発生ゼロを目標とする。	お客様の通行の安全性向上を第一に考え、パトロール実施などにより、絶えず管理瑕疵に起因する事故の発生防止を図る。道路構造物を常に良好な状態に保全し、構造物等施設点検の充実を図る。
② 利用台数及び安定的な事業収入の確保	日平均交通量		台	10	<53,443> 19,942	20,150 × 19,968 ※20,122	↓ 17,096 ※20,352	10	20,352	20,554	収支見込をたてる管理指標として、各路線の近年の交通量のすう勢並びに新名神交通量の推計に基づき、利用台数の見込として設定	各路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用者のニーズ等を捉えた利用促進策を実施するとともに、適宜、交通量の増減要因を的確に分析する。
	利用促進策の効果的な実施		項目	5	12	12	12	5	—	—	公社職員が利用者等の方々と一緒に実施する利用促進活動	各路線の知名度や利便性の周知が効果的に図られるよう利用者のニーズ等を捉えて利用促進策を実施する。

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

② 利用台数及び安定的な事業収入の確保	有料道路料金収入		百万円	10	<6,326> 1,764	1,840 × (1,818 ※1,834)	↓ 1,501 ※1,886	10	1,894	1,933	各路線の近年の交通量のすう勢並びに新名神交通量の推計により見込んだ利用台数と前年の利用平均単価から設定	利用者ニーズを踏まえ、ホームページやTwitterによる情報発信に加え、周辺の観光施設等とタイアップしたキャンペーンの実施、近隣の集客施設やイベント等でのリーフレットの配布等のPR活動により、各路線の知名度の向上と利便性の周知に努める。
③ 維持管理方針に基づく計画的な維持管理	適正な維持管理費の執行		百万円	15	<3,041> 779	1,082 [989]	967	15	876	1,026	北出入口付近の法面補修工事、中央分離帯の防水工事等の防災対策強化や補修工事等の費用を計上	「大阪府道路公社維持管理方針」に基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するが、維持管理費の執行にあたっては、事業実施の内容や方法をより精査するとともに、競争性の確保などにより、コスト削減を図りつつ目標金額以内で執行していく。
④ 法人経営の安定性の確保	コスト縮減		百万円	10	15	67 [70]	↓ 17	10	17	17	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し、電力調達方式の見直し等によるコスト削減の取り組みによる縮減見込額を計上	これまで実施した維持管理方法の工夫、管理水準の見直し、電力調達方式の見直し等によるコスト削減の実施を継続。

【凡例】

- ・☆はR2年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

- ・H30年度実績欄<>の数値は、原則、管理3路線(第二阪奈有料道路、鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)分の数値である。
- ・数値は、管理2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)分の数値である。
- ・R1実績値(実績見込値)、R2目標値の下段(※)の数値は、新型コロナウイルスの影響がないとした推計値